

明治薬科大学における臨床検査技師関連教育について

臨床検査技師は、医療機関等でさまざまな検査に従事する医療技術者であり、国家資格に基づく専門職です。病気の診断や治療効果の判定には正確な検査が必要です。臨床検査技師は血液や尿の検体検査、超音波や心電図などの生理機能検査、遺伝子検査、微生物検査など多岐に渡る検査の専門家として医療に貢献します。

明治薬科大学の生命創薬科学科では、卒業に必須な単位以外に臨床検査技師国家試験受験資格を得るために必要な単位を取得することができます。具体的には1年次から臨床検査技師関連科目が選択科目として開講されます。その科目の中には4年次に実施される約3週間の学内実習と11週間の学外実習（臨地実習：病院での実習）が含まれます。臨床検査技師国家試験受験資格の要件として、卒業に必要な単位数に加えて、4年次の実習も含めた臨床検査技師関連科目56単位の取得が必要となります。臨地実習の実習費および必要な抗体検査、ワクチン接種の実費（合計約200,000円前後※）は自己負担となります。（※この金額は、通常の授業料・施設設備費には含まれません。）

明治薬科大学では、例年、10名程度が国家試験に臨んでおり、病院や臨床検査センターでの技師職としての就職に加えて、薬学と臨床検査の素養を生かした進路（検査薬の研究開発職、臨床開発職、医薬情報関連職など）が拓かれます。さらに大学院に進学し、研究経験を積むことで進路の選択肢を広げることも可能です。